

[カイガラムシの特効薬] [スプラサイド]

スプラサイドの開発の背景

JA全農は、殺虫剤スプラサイド乳剤 40 並びに水和剤について、2012 年 1 月に日本における全ての権利をシンジェンタ社から譲り受けました。スプラサイドは、1967 年に農薬登録されて以来、カイガラムシ防除を中心とする総合殺虫剤として販売開始され、茶、みかん、落葉果樹、花卉類などの広範囲の作物に使用されてきました。現在でも、多くのカイガラムシ防除剤のなかで、優れた速効性と安定した効果を示し、大変重要な殺虫剤となっています。2012 年 10 月からは、クミアイ化学工業(株)がスプラサイド剤を製造し、JA を通じて販売します。

スプラサイドの特長

幅広いカイガラムシに有効

コナカイガラムシ類、ロウムシ類、マルカイガラムシ類などカイガラムシの種類を問わず安定した効果を示します。

マルカイガラムシ類にも高い効果

難防除害虫であるマルカイガラムシ類(アカマルカイガラムシ、クワシロカイガラムシ、ヤノネカイガラムシなど)に対しても高い効果を示します。

幅広い防除適期

他のカイガラムシ防除剤と比較して、生育の進んだカイガラムシにも効果が高く、防除適期にゆとりがあります(防除適期幅はカイガラムシの種類により差があります)

効果の発現が速い

カイガラムシや、その他の各種害虫に対して、すばやい効果が期待できます。

